

令和5年度 高齢者インフルエンザ予防接種実施のお知らせ

インフルエンザは、高齢者がかかると肺炎などの合併症を引き起こす確率が高く、時には死にいたることもあります。流行期の前に予防接種を受けることで、感染のリスクを軽減することができます。

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、予防接種を受けましょう。

1. 対象者

①令和5年10月1日現在、満65歳以上の方
(昭和33年10月1日以前に生まれた方)

②令和5年10月1日現在、60～64歳の方で身体障害者手帳1級(内部障害)を持っている方

※接種当日に西会津町に住民票があり、自分で意思表示のできる方
(受ける・受けないを判断できる方)

※入院されている方や施設に入所されている方も対象になります。

※接種開始日程は、各医療機関で異なりますので、事前に診療日、診療時間を必ず確認してから受診してください。

2. 実施期間 **令和5年10月1日(日)～令和6年1月31日(水)**

*上記期間以外は助成対象外となります。

3. 実施場所 **県内外の医療機関**

*かかりつけ医で接種をお願いします。

※町内の診療所については下記のとおり実施しています。

コロナワクチン接種に伴い、日程が変更する場合があります。

西会津診療所	月～金曜日 (午前受付 11時30分まで) (午後受付 16時まで) 第1・3土曜日 (受付 11時まで)	☎45-4228
群岡診療所	月・金曜日 診察 14時～16時 (受付 15時まで)	☎47-2025
奥川診療所	火曜日 <u>要予約</u> ※ <u>西会津診療所</u> へ当日11:00までに必ず予約してください。	西会津診療所へ 予約してください (☎45-4228)

※診療所での接種は、混み合うことが予想されます。予めご了承ください。

裏面もよくお読みください。

4. 接種方法 インフルエンザHAワクチン0.5mlを1回皮下に注射します。

5. 料金 **県内の医療機関は無料**

※県外で接種した場合は、一度接種料金をお支払いいただき、申請により自己負担金を全額補助します。

6. 受け方

- ① 「インフルエンザと予防接種」をよくお読みください。(別紙：白色チラシ)
- ② **インフルエンザ予診票(青色)の太枠内を記入し、予防接種済証(白色)と合わせて2枚とも医療機関に持参してください。接種当日忘れた場合は、接種できないこともありますのでご注意ください。**
- ③ 予診票は、医師が接種するかどうかを決める大切な情報です。
接種する人が自分で責任を持ってボールペンで記入してください。
- ④ かかりつけ医で体調の良い時に接種されることをお勧めします。
- ⑤ **意思表示ができない方は「任意接種」となり自己負担金が発生します。**
実施期間内に自己負担金をお支払いした方には申請にて自己負担金を全額補助する制度がありますので、詳しくは下記担当まで問合せください。
また、上記補助金の申請書は令和6年2月29日(木)までに提出いただくようご協力をお願いします

問合せ先：西会津町 健康増進課 健康支援係 ☎45-4532

インフルエンザと予防接種

1. インフルエンザとは

インフルエンザは空気中に広がったウイルスを吸い込むことによって感染します。インフルエンザの流行は、通常、初冬から春先にみられます。典型的なインフルエンザの症状は、突然の高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛などで、普通の風邪にくらべて全身症状が強いのが特徴です。高齢者が感染すると、持病の悪化や合併症を引き起こし重症化しやすくなるため、注意が必要です。

2. インフルエンザ予防接種の有効性

高齢者の発症防止や、特に重症化防止に有効であることが確認されています。予防接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力がつくまで2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間とされています。より効率性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行し始める12月上旬までに接種を受けておくことがおすすめです。

3. 予防接種の副反応

注射の痕が赤くなったり、はれたり、痛んだりしますが、通常2～3日で治ります。

また、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害の症状があらわれる等の報告があります。

4. 予防接種を受ける前に

(1) 一般的注意

この説明書を読んで、気になることや分からないことがあれば、接種を受ける前に担当の医師や看護師、健康支援係に質問しましょう。十分に納得できない場合には、接種を受けないで下さい。

(2) 予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人

裏面もよくお読みください。

- ③ インフルエンザ予防接種に含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがある人
- ④ その他、医師が不相当と判断した場合

(3) 予防接種を受ける前に、主治医とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
- ② 前にインフルエンザの予防接種を受けた時、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーを思わす異常がみられた人
- ③ 今までにけいれんを起こしたことがある人
- ④ 今までに中耳炎や肺炎などによくかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人
- ⑤ インフルエンザ予防接種の成分または鶏卵、鶏肉、その他鶏由来の物に対してアレルギーがあるといわれたことがある人

(4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② インフルエンザワクチンの副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすはやめましょう。
- ④ 接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

5. 副反応が起こった場合

予防接種の後、まれに副反応が起こることがあります。低血圧、高熱などがあらわれたら、医療機関から渡された接種の記録を持参のうえ、医師（医療機関）の診療を受けてください。また、予防接種と同時に、他の病気がたまたま重なってあらわれることもあります。その場合は、健康支援係まで連絡ください。